

I 平成26年度事業計画書

当協会は、昭和59年に「視覚障害者食生活改善協会」として設立されて以来、30年にわたり、組織の変遷を経つつも、継続して、視覚障害者や高齢者に対し、日々の食生活を営む上で必要とされる情報をお届けするため、様々な活動を展開して参りました。

また、食育基本法が制定されて以来、「食育」の推進にも積極的に取り組んで参りました。

昨年来、いわゆるアベノミクスによる積極的な財政・金融政策や成長戦略への期待から、景気回復への明るい兆しが見えつつあります。一方では、様々な格差の是正を図ることも社会的な課題になってきております。

当協会を取り巻く情勢を見ますと、高齢化社会の進展に伴う諸対策の強化や障害のある方々への支援の充実が求められており、当協会の果たすべき役割は、益々大きくなりつつあります。

このような中で、日頃ご支援いただいている皆様のご理解をいただきながら、事業の拡充を図っていく必要があります。

平成26年度においては、従来の活動の成果を踏まえ、さらに事業内容の見直しを図りつつ、高齢者・障害者等への食生活に関する知識と情報の提供、食生活環境のバリアフリー化及び食育に関する事業を推進して参ります。

また、当協会の創立30周年に当たり、記念行事を実施いたします。

1 視覚障害者への音声による食生活情報の提供

① 月刊「声の食生活情報」

食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」を、希望に応じ、カセットテープ又はデイジー（デジタル録音図書国際標準規格）対応のCDで、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。

〔(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団助成事業〕

〔(一社)日本フードサービス協会助成事業 申請中〕

② 随時提供する食生活情報

賛助会員等の協力によるテーマを特定した食生活改善のための情報などをデイジー対応のCD又はカセットテープにより提供します。

〔(株)日清製粉グループ本社助成事業 申請中〕

2 ホームページによる食生活情報の提供

ホームページ「すこやか食生活ネット」で、毎日の献立のヒントとなるレシピを紹介します。料理の写真を掲載し、作り方を音声で聴くこともできます。

このほか、ホームページでは、当協会の活動状況の報告や作成した資料の紹介等を行います。(URL：<http://www.sukoyakanet.or.jp/>)

3 食育の推進

① 視覚障害者が健康で健全な食生活を享受するための食育の推進

視覚障害者が健康で健全な食生活を享受できるよう、食品の生産から食卓に至るまでのフードチェーン全般にわたる系統的な理解を促進するための食育活動の実践を行う事業を推進します。

〔農林水産省の補助事業に応募〕

② シニア世代のための食育セミナーの開催

シニア本人と家族、地域社会、食に係わる企業・団体が分担し連携して、シニア世代の食生活に関する課題に対応し、食生活環境を改善するため、様々な食に関する知識・手法を各分野の専門家から紹介いただく市民講座を開催します。

〔(公社)日本フードスペシャリスト協会助成事業 申請中〕

③ シニア世代食育推進協議会による食育推進事業の推進

シニア世代の食育に関連する企業・団体が連携・協力して食育推進にあたるシニア世代食育推進協議会(会長 柴田博氏)の事務局の運営を当協会が担っており、協議会が実施する事業のコーディネートを行うとともに、会員相互の連携・情報交換を進めることにより、シニア世代の食生活改善に寄与します。

4 視覚障害者の食生活環境のバリアフリー化の推進

① 食生活改善に関する解説書の作成

当協会は、これまでも、高齢者、障害者等ハンディキャップを負った方々の自立、自活を支援するため、バリアフリー化に関する諸事業に取

り組んで参りました。その一環として、視覚障害者が自立したよりよい食生活を営むための実践の手引きとして、食生活ジャーナリストの岸朝子氏の指導により、毎月2種類の旬の代表的な食材とそれにまつわる日本の食文化を紹介するとともに、その食材を用いて簡単にできる料理の調理法とその食べ方についての解説書を作成します。弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字をのせ音声コードを付けた使い勝手のよいものとしします。

〔(財)日本宝くじ協会助成事業 申請中〕

② 視覚障害者への食肉情報提供

シニア層の多い視覚障害者は、購買行動の不便さもあって、高齢者に一般的な動物性たん白質(食肉)の摂取不足がより大きな課題となっており、また、日常的に入手・利用できる調理レシピは非常に少ない状況にあります。このため、弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字をのせ音声コードを付けた使い勝手のよい食肉に関連したレシピカード集を作成するとともに、それを教材として料理教室を開催し、視覚障害者に豊かでより望ましい食生活を享受できる環境の整備を図ります。

〔(公社)日本食肉協議会助成事業 申請中〕

③ 食生活改善に資する調査とその広報

視覚障害者の食生活を安全で豊かなものとするため、声の食生活情報の利用者等を対象として視覚障害者の食生活の実態及び食材の調理と試食による評価を調査し、食品企業・団体はじめ関係する方々に当面する課題の把握とその解決に積極的な対応を呼びかけるとともに視覚障害者間での情報の共有を図ります。

5 高齢者の食生活を豊かにするための情報提供

① シニア料理教室

高齢者を対象にして、牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い新しいメニューの普及とそれを通じた牛乳・乳製品の持続的な消費拡大を図るための料理教室を首都圏各地で開催します。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会助成事業 申請中〕

② 即席食品の正しい知識の普及

調理が簡便な即席食品は、日常の調理にハンディを抱えがちな高齢者や障害者にとって便利な食品です。その正しい知識を身につけてもらうとともに、使い勝手を良くするための要望を汲み上げることを目的として、昨年度に引き続きアンケート調査を実施します。

〔(一社)日本即席食品工業協会助成事業 申請中〕

6 創立30周年記念行事

当協会の創立30周年を記念して式典を挙るとともに、視覚障害者の食生活自立体験に関するコンクールを実施します。(別紙「協会30周年記念行事概要」参照)